



ATEAM HOLDINGS CO., LTD.

2025 CDP コーポレート質問書 2025

Word バージョン

重要: このエクスポートには未回答の質問は含まれません

このドキュメントは、組織の CDP アンケート回答のエクスポートです。回答済みまたは進行中の質問のすべてのデータ ポイントが含まれています。提供を要求された質問またはデータ ポイントが、現在未回答のためこのドキュメントに含まれていない場合があります。提出前にアンケート回答が完了していることを確認するのはお客様の責任です。CDP は、回答が完了していない場合の責任を負いません。

[情報開示規約](#)

内容

C1. イントロダクション	4
(1.1) どの言語で回答を提出しますか。	4
(1.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。	4
(1.3) 貴組織の一般情報・概要を提供してください。	4
(1.4) データの報告年の終了日を入力してください。排出量データについて、過去の報告年における排出量データを提供するか否かを明記してください。	5
(1.4.1) 報告対象期間における貴組織の年間売上はいくらですか。	5
(1.5) 貴組織の報告バウンダリ（境界）の詳細を回答してください。	5
(1.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (たとえば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。	5
(1.7) 貴組織が事業を運営する国/地域を選択してください。	7
(1.24) 貴組織はバリューチェーンをマッピングしていますか。	7
(1.24.1) 直接操業またはバリューチェーンのどこでプラスチックが生産、商品化、使用、または廃棄されているかについてマッピングしましたか。	8
C2. 依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理	9
(2.1) 貴組織は、貴組織の環境上の依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理に関連した短期、中期、長期の時間軸をどのように定義していますか。	9
(2.2) 貴組織には、環境への依存やインパクトを特定、評価、管理するプロセスがありますか。	10
(2.2.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。	11
(2.2.7) 環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係を評価していますか。	11
(2.3) バリューチェーン内の優先地域を特定しましたか。	12
(2.4) 貴組織は、組織に対する重大な影響をどのように定義していますか。	12
C3. リスクおよび機会の開示	14
(3.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。	14
(3.5) 貴組織の事業や活動はカーボンプライシング制度 (ETS、キャップ・アンド・トレード、炭素税) による規制を受けていますか。	15
(3.6) 報告年の間に貴組織に大きな影響を与えた、あるいは将来的に貴組織に大きな影響を与えることが見込まれる何らかの環境上の機会を特定していますか。	15
C4. ガバナンス	17
(4.1) 貴組織は取締役会もしくは同等の管理機関を有していますか。	17
(4.1.1) 貴組織では、取締役会レベルで環境課題を監督していますか。	17
(4.2) 貴組織の取締役会は、環境課題に対する能力を有していますか。	18
(4.3) 貴組織では、経営レベルで環境課題に責任を負っていますか。	18
(4.5) 目標達成を含め、環境課題の管理に対して金銭的インセンティブを提供していますか。	19
(4.6) 貴組織は、環境課題に対処する環境方針を有していますか。	19

(4.10) 貴組織は、何らかの環境関連の協働的な枠組みまたはイニチアチブの署名者またはメンバーですか。	20
(4.11) 報告年の間に、貴組織は、環境に (ポジティブにまたはネガティブに) 影響を与え得る政策、法律または規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある活動を行いましたか。	20
(4.12) 報告年の間に、CDP への回答以外で、貴組織の環境課題に対する対応に関する情報を公開していますか。	21
(4.12.1) CDP への回答以外で報告年の間の環境課題に対する貴組織の対応に関する情報についての詳細を記載してください。当該文書を添付してください。	21

C5. 事業戦略 **24**

(5.1) 貴組織では、環境関連の結果を特定するためにシナリオ分析を用いていますか。	24
(5.2) 貴組織の戦略には気候移行計画が含まれていますか。	24
(5.4) 貴組織の財務会計において、貴組織の気候移行計画と整合した支出/売上を特定していますか。	25
(5.10) 貴組織は環境外部性に対するインターナル・プライスを使用していますか。	25
(5.11) 環境課題について、貴組織のバリューチェーンと協働していますか。	26

C6. 環境パフォーマンス - 連結アプローチ **28**

(6.1) 環境パフォーマンスデータの計算に関して、選択した連結アプローチを具体的にお答えください。	28
--	----

C7. 環境パフォーマンス - 気候変動 **30**

(7.1) 今回が CDP に排出量データを報告する最初の年になりますか。	30
(7.1.1) 貴組織は報告年に構造的変化を経験しましたか。あるいは過去の構造的変化がこの排出量データの情報開示に含まれていますか。	30
(7.1.2) 貴組織の排出量算定方法、バウンダリ、および/または報告年の定義は報告年に変更されましたか。	30
(7.1.3) 7.1.1 および/または 7.1.2 で報告した変更または誤りの結果として、貴組織の基準年排出量および過去の排出量について再計算が行われましたか。	31
(7.2) 活動データの収集や排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法の名称を選択してください。	31
(7.3) スcope 2 排出量を報告するための貴組織のアプローチを説明してください。	31
(7.4) 選択した報告バウンダリ 内で、開示に含まれていないスcope 1、スcope 2、スcope 3 の排出源 (たとえば、施設、特定の温室効果ガス、活動、地理的場所等) はありますか。	32
(7.4.1) 選択した報告バウンダリ 内にあるが、開示に含まれないスcope 1、スcope 2、またはスcope 3 排出量の発生源の詳細を記入してください。	32
(7.5) 基準年と基準年排出量を記入してください。	34
(7.6) 貴組織のスcope 1 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。	34
(7.7) 貴組織のスcope 2 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。	35
(7.8) 貴組織のスcope 3 全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。	35
(7.9) 報告した排出量に対する検証/保証の状況を回答してください。	41
(7.10) 報告年における排出量総量 (スcope 1+2 合計) は前年と比較してどのように変化しましたか。	41
(7.12) 生物起源炭素由来の二酸化炭素排出は貴組織に関連しますか。	42
(7.15) 貴組織では、スcope 1 排出量の温室効果ガスの種類別の内訳を作成していますか。	42
(7.16) スcope 1 および 2 の排出量の内訳を国/地域別で回答してください。	42
(7.17) スcope 1 全世界総排出量の内訳のうちのどれを記入できるか示してください。	42

(7.17.2) 事業施設別にスコープ 1 全世界総排出量の内訳をお答えください。	42
(7.22) 連結会計グループと回答に含まれる別の事業体の間のスコープ 1 およびスコープ 2 総排出量の内訳をお答えください。	43
(7.23) 貴組織の CDP 回答に含まれる子会社の排出量データの内訳を示すことはできますか。	43
(7.29) 報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものでしたか。	44
(7.30) 貴組織がどのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。	44
(7.30.1) 貴組織のエネルギー消費量合計 (原料を除く) を MWh 単位で報告してください。	45
(7.30.16) 報告年における電力/熱/蒸気/冷熱の消費量の国/地域別の内訳を示してください。	46
(7.53) 報告年に有効な排出量目標はありましたか。	46
(7.53.3) 排出量目標を設定しなかった理由、および今後 5 年間の排出量変化予測について説明してください。	47
(7.54) 報告年に有効なその他の気候関連目標がありましたか。	47
(7.55) 報告年内に有効であった排出量削減イニシアチブがありましたか。これには、計画段階及び実行段階のものを含みます。	47
(7.55.4) 報告年中に排出量削減活動を実施していなかったのはなぜですか。	48
(7.74) 貴組織の製品やサービスを低炭素製品に分類していますか。	48
(7.79) 貴組織では、報告年内にプロジェクトベースの炭素クレジットを償却しましたか。	48

C11. 環境パフォーマンス - 生物多様性 49

(11.2) 生物多様性関連のコミットメントを進展させるために、貴組織は本報告年にどのような行動を取りましたか。	49
(11.3) 貴組織は、生物多様性関連活動全体の実績をモニタリングするために、生物多様性指標を使用していますか。	49
(11.4) 報告年に、生物多様性にとって重要な地域内またはその近くで事業活動を行っていましたか。	49

C13. 追加情報および最終承認 51

(13.1) CDP への回答に含まれる環境情報 (質問 7.9.1/2/3、8.9.1/2/3/4、および 9.3.2 で報告されていないもの) が第三者によって検証または保証されているかどうかをお答えください。	51
(13.3) CDP 質問書への回答を最終承認した人物に関する以下の情報を記入します。	51

C1. イントロダクション

(1.1) どの言語で回答を提出しますか。

選択:

日本語

(1.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。

選択:

JPY

(1.3) 貴組織の一般情報・概要を提供してください。

(1.3.2) 組織の種類

選択:

上場組織

(1.3.3) 組織の詳細

当社グループ（当社及び当社の関係会社は）は、当社（株式会社エイチームホールディングス）及び連結子会社 10 社によって構成されており、インターネットを軸に、比較サイト・情報サイト、ゲームコンテンツ、EC サイトなどの企画・開発及び運営を行っております。各事業セグメントの詳細は以下です。【メディア・ソリューション事業】 日常生活に密着した比較サイト・情報メディア・ツールなどの様々なウェブサービスの企画・開発・運営、法人向けデジタル集客支援に関する事業支援サービスを展開する。代表的なサービス: 引越し比較・予約サイト「引越し侍」、車査定・車買取サイト「ナビクル」、結婚式場情報サイト「ハナユメ」、技術情報共有サイト「Qiita」、お金の「まよい」を解決する情報メディア「イーデス」等。【エンターテインメント事業】 「人と人とのつながりの実現」をテーマに、世界中の人々に娯楽を提供するスマートデバイス向けゲームやツールアプリケーションの企画・開発及び運営を行う。代表的なサービス: 「ヴァルキリーコネクト」「ユニゾンリーグ」等。【D2C 事業】 様々な商材を取り扱う複数の EC サイトの企画・開発及び運営を行う。代表的なサービス: 化粧品・スキンケアブランド「lujo」、ペットフードブランド「OBREMO」なお、2024 年 7 月期の連結従業員数は 814 名、連結売上高は 23,917 百万円です。

[固定行]

(1.4) データの報告年の終了日を入力してください。排出量データについて、過去の報告年における排出量データを提供するか否かを明記してください。

	報告年の終了日	本報告期間と財務情報の報告期間は一致していますか	過去の報告年の排出量データを回答しますか
	07/30/2024	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

[固定行]

(1.4.1) 報告対象期間における貴組織の年間売上はいくらですか。

23917

(1.5) 貴組織の報告バウンダリ（境界）の詳細を回答してください。

	CDP 回答に使用する報告バウンダリは財務諸表で使用されているバウンダリと同じですか。
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい

[固定行]

(1.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (たとえば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。

ISIN コード - 債券

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

ISIN コード - 株式

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

CUSIP 番号

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

ティッカーシンボル

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

SEDOL コード

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

LEI 番号

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

D-U-N-S 番号

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

いいえ

その他の固有の市場識別 ID

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

はい

(1.6.2) 組織固有の市場識別 ID を提示してください。

3662 (東京証券取引所 証券番号)

[行を追加]

(1.7) 貴組織が事業を運営する国/地域を選択してください。

該当するすべてを選択

日本

(1.24) 貴組織はバリューチェーンをマッピングしていますか。

	バリューチェーンのマッピング	バリューチェーン上流またはバリューチェーン上のどの段階もマッピングしない主な理由	貴組織がバリューチェーン上流またはバリューチェーン上のどの段階もマッピングしない理由を説明してください
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、また今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	環境問題に伴うバリューチェーンのマッピングへの対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループが情報・ITセクターであり、かつ当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、他優先事項を考慮したうえで検討を進める予定です。

[固定行]

(1.24.1) 直接操業またはバリューチェーンのどこでプラスチックが生産、商品化、使用、または廃棄されているかについてマッピングしましたか。

	プラスチックのマッピング	貴組織がバリューチェーンをマッピングしない主な理由	貴組織がバリューチェーンにおけるプラスチックをマッピングしていない理由を説明してください
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	環境問題に伴うバリューチェーンのマッピングへの対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループが情報・ITセクターであり、かつ当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、他優先事項を考慮したうえで検討を進める予定です。

[固定行]

C2. 依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理

(2.1) 貴組織は、貴組織の環境上の依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理に関連した短期、中期、長期の時間軸をどのように定義していますか。

短期

(2.1.1) 開始(年)

0

(2.1.3) 終了(年)

1

(2.1.4) この時間軸が戦略計画や財務計画にどのように関連付けられていますか。

通期決算発表時と同時に開示する次年度の業績予想（ガイダンス）を開示している。

中期

(2.1.1) 開始(年)

2

(2.1.3) 終了(年)

4

(2.1.4) この時間軸が戦略計画や財務計画にどのように関連付けられていますか。

当社グループの経営管理・予算策定において、中期で計画策定することが多い。

長期

(2.1.1) 開始(年)

5

(2.1.2) 期間の定めのない長期の時間軸を設けていますか

選択:

いいえ

(2.1.3) 終了(年)

10

(2.1.4) この時間軸が戦略計画や財務計画にどのように関連付けられていますか。

短期・中期に当てはまらない長期

[固定行]

(2.2) 貴組織には、環境への依存やインパクトを特定、評価、管理するプロセスがありますか。

	プロセスの有無	依存やインパクトを評価しない主な理由	依存やインパクトを評価しない理由を説明し、今後評価を行う計画があれば説明してください。
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	気候関連問題をはじめとした環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループが情報・ITセクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではありません。そのため、現時点では依存やインパクトを評価しておりません。

[固定行]

(2.2.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。

	プロセスの有無	リスクや機会を評価しない主な理由	リスクや機会を評価しない理由を説明し、今後評価する計画がある場合は説明してください。
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	気候関連問題をはじめとした環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループが情報・ITセクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではありません。そのため、現時点ではリスクや機会を評価しておりません。

[固定行]

(2.2.7) 環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係を評価していますか。

(2.2.7.1) 環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係の評価の有無

選択:

いいえ

(2.2.7.3) 環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係を評価していない主な理由

選択:

重要でないか、関連性がないと判断した

(2.2.7.4) 環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係を評価していない理由について回答してください

気候関連問題をはじめとした環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループが情報・ITセクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で、機関形成及び体制整備を検討してまいります。その上で、インパクトや依存度、リスクや機会を特定・評価の上、相互の関係性の評価を将来的に検討してまいります。

[固定行]

(2.3) バリューチェーン内の優先地域を特定しましたか。

(2.3.1) 優先地域の特定

選択:

いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません

(2.3.7) 優先地域を特定しない主な理由

選択:

重要でないか、関連性がないと判断した

(2.3.8) 優先地域を特定しない理由を説明してください

環境問題に関するバリューチェーンの優先地域の特定は、プライム市場上場企業として取り組むべき環境問題に関する事項であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で、機関形成及び体制整備を検討してまいります。

[固定行]

(2.4) 貴組織は、組織に対する重大な影響をどのように定義していますか。

リスク

(2.4.1) 定義の種類

該当するすべてを選択

定性的

(2.4.6) 定義する際に考慮する尺度

該当するすべてを選択

影響が発生する可能性

(2.4.7) 定義の適用

事業に対する財務または戦略面での重大な影響の定義はしていません。気候関連問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で検討する予定です。

機会

(2.4.1) 定義の種類

該当するすべてを選択

定性的

(2.4.6) 定義する際に考慮する尺度

該当するすべてを選択

影響が発生する可能性

(2.4.7) 定義の適用

事業に対する財務または戦略面での重大な影響の定義はしていません。気候関連問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で検討する予定です。

[行を追加]

C3. リスクおよび機会の開示

(3.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。

気候変動

(3.1.1) 環境リスクの特定

選択:

いいえ

(3.1.2) 貴組織が直接操業やバリューチェーン上流/下流に環境リスクがないと判断した主な理由

選択:

当面の戦略的優先事項ではない

(3.1.3) 説明してください

気候関連問題をはじめとした環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で、機関形成及び体制整備を検討してまいります。

プラスチック

(3.1.1) 環境リスクの特定

選択:

いいえ

(3.1.2) 貴組織が直接操業やバリューチェーン上流/下流に環境リスクがないと判断した主な理由

選択:

- 当面の戦略的優先事項ではない

(3.1.3) 説明してください

気候関連問題をはじめとした環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で、機関形成及び体制整備を検討してまいります。

[固定行]

(3.5) 貴組織の事業や活動はカーボンプライシング制度 (ETS、キャップ・アンド・トレード、炭素税) による規制を受けていますか。

選択:

- いいえ、今後3年以内に規制されるとは見込んでいない

(3.6) 報告年の間に貴組織に大きな影響を与えた、あるいは将来的に貴組織に大きな影響を与えることが見込まれる何らかの環境上の機会を特定していますか。

気候変動

(3.6.1) 特定された環境上の機会

選択:

- いいえ

(3.6.2) 自組織に環境上の機会がないと考える主な理由

選択:

- 重要でないか、関連性がないと判断した

(3.6.3) 説明してください

気候関連問題をはじめとした環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではありません。現在は気候関連リスクおよび機会の特定、評価をまだ行っていません。

【固定行】

C4. ガバナンス

(4.1) 貴組織は取締役会もしくは同等の管理機関を有していますか。

(4.1.1) 取締役会または同等の管理機関

選択:

はい

(4.1.2) 取締役会または同等の機関が開催される頻度

選択:

四半期に1回以上の頻度で

(4.1.3) 取締役会または同等の機関の構成メンバー(取締役)の種類

該当するすべてを選択

常勤取締役またはそれに準ずる者

独立社外取締役またはそれに準ずる者

(4.1.4) 取締役会のダイバーシティ&インクルージョンに関する方針

選択:

いいえ

[固定行]

(4.1.1) 貴組織では、取締役会レベルで環境課題を監督していますか。

	この環境課題に対する取締役会レベルの監督	この環境課題に対して取締役会レベルで監督を行わない主な理由	この環境課題に対し、貴組織がなぜ取締役会レベルでの監督を行わないかを説明してください。
気候変動	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で、機関形成及び体制整備を検討してまいります。
生物多様性	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で、機関形成及び体制整備を検討してまいります。

[固定行]

(4.2) 貴組織の取締役会は、環境課題に対する能力を有していますか。

	この環境課題に対する取締役会レベルの能力	この環境課題に対し取締役会レベルの能力がない主な理由	貴組織の取締役会がなぜこの環境課題に対する能力を有していないのかを説明してください。
気候変動	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で、機関形成及び体制整備を検討してまいります。

[固定行]

(4.3) 貴組織では、経営レベルで環境課題に責任を負っていますか。

	この環境課題に対する経営レベルの責任	環境課題について経営レベルで責任を負わない主な理由	貴組織において、経営レベルで環境課題に責任を負わない理由を説明してください。
気候変動	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で、機関形成及び体制整備を検討してまいります。
生物多様性	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	環境問題への対応は、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しておりますが、当社グループがIT・情報セクターであり、当社グループとしては差し迫った優先事項ではないため、まずは経営基盤の強化が進んだ段階で、機関形成及び体制整備を検討してまいります。

[固定行]

(4.5) 目標達成を含め、環境課題の管理に対して金銭的インセンティブを提供していますか。

	この環境課題に関連した金銭的インセンティブの提供	説明してください
気候変動	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、今後2年以内に導入予定もない	経営・事業上の戦略上、環境課題は差し迫った優先事項ではないため、本件に関わる金銭的インセンティブの提供は行っておりません。

[固定行]

(4.6) 貴組織は、環境課題に対処する環境方針を有していますか。

(4.6.1) 貴組織は環境方針を有していますか。

選択:

いいえ、そして今後 2 年以内にそうする予定もありません

(4.6.2) 環境方針を有していない主な理由

選択:

重要でないか、関連性がないと判断した

(4.6.3) 貴組織が環境方針を有していない理由を説明してください。

当社グループが IT・情報セクターであり、かつ経営・事業上の戦略上、環境課題は差し迫った優先事項ではないため、気候関連問題をはじめとした環境問題への対応は行っていません。しかしながら、プライム市場上場企業として取り組むべき重要課題であると認識しており、当社グループは、TCFD 提言への賛同を表明しており、今後、TCFD の枠組みに沿った情報開示を進めていく想定です。まずは、業績向上及び企業価値向上に向けて、まずは既存事業の収益性向上をはじめとした経営基盤の強化を重要事項として位置づけ、優先的に社内リソースを投下しています。そのため、気候関連リスクおよび機会の特定、評価、ならびにそれに対応するプロセスについては、経営基盤の強化ができてから検討する予定です。

[固定行]

(4.10) 貴組織は、何らかの環境関連の協働的な枠組みまたはイニチアチブの署名者またはメンバーですか。

	貴組織は、何らかの環境関連の協働的な枠組みまたはイニチアチブの署名者またはメンバーですか。
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後 2 年以内にそうする予定もありません

[固定行]

(4.11) 報告年の間に、貴組織は、環境に (ポジティブにまたはネガティブに) 影響を与え得る政策、法律または規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある活動を行いましたか。

(4.11.1) 環境に影響を与え得る政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある外部とのエンゲージメント活動

該当するすべてを選択

評価していない

(4.11.2) 貴組織が、グローバルな環境関連の条約または政策ゴールに整合してエンゲージメント活動を行うという公開されたコミットメントまたはポジションステートメントを有しているかどうかを回答してください。

選択:

いいえ、そして今後 2 年以内に行う予定はありません

(4.11.5) 貴組織が透明性登録簿に登録されているかどうかを回答してください。

選択:

いいえ

(4.11.8) 外部とのエンゲージメント活動が貴組織の環境関連のコミットメントおよび/または移行計画と矛盾しないように貴組織で講じているプロセスを説明してください。

環境に影響を与えうる組織・法律等のエンゲージメントを実施していないため、本件に関わるプロセスはありません。

[固定行]

(4.12) 報告年の間に、CDP への回答以外で、貴組織の環境課題に対する対応に関する情報を公開していますか。

選択:

はい

(4.12.1) CDP への回答以外で報告年の間の環境課題に対する貴組織の対応に関する情報についての詳細を記載してください。当該文書を添付してください。

Row 1

(4.12.1.1) 公開

選択:

- メインストリームレポート

(4.12.1.3) 文書中で対象となっている環境課題

該当するすべてを選択

- 気候変動

(4.12.1.4) 作成状況

選択:

- 完成

(4.12.1.5) 内容

該当するすべてを選択

- 環境方針の内容
- ガバナンス

(4.12.1.6) ページ/章

P15

(4.12.1.7) 関連する文書を添付してください。

FY2024 有価証券報告書 (エイチーム) .pdf

(4.12.1.8) コメント

有価証券報告書の「サステナビリティに関する考え方及び取組」として開示
【行を追加】

C5. 事業戦略

(5.1) 貴組織では、環境関連の結果を特定するためにシナリオ分析を用いていますか。

気候変動

(5.1.1) シナリオ分析の使用

選択:

いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません

(5.1.3) 貴組織がシナリオ分析を用いない主な理由

選択:

重要でないか、関連性がないと判断した

(5.1.4) 貴組織がシナリオ分析を用いない理由を説明してください

気候関連リスクおよび機会の特定、評価を行っていないため、気候関連シナリオ分析を作成していません。気候関連リスクおよび機会の特定、評価をした結果、事業戦略に影響が及ぶことが判明した場合は、気候関連シナリオ分析を作成し、事業戦略に反映していく予定です。

[固定行]

(5.2) 貴組織の戦略には気候移行計画が含まれていますか。

	移行計画	1.5°Cの世界と整合する気候移行計画を有していない主な理由	1.5°Cの世界に整合した気候移行計画を貴組織が有していない理由を説明してください。
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして、今後2年以内に気候移行計画を策定する予定はありません。	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	気候関連リスクおよび機会の特定、評価を行っていないため、それに伴う気候関連のシナリオ分析及び計画は策定しておりません。まずは、経営戦略上の重要性及び優先度を鑑みながら、気候関連リスクおよび機会の特定、評価等、現状の把握を行い、今後の事業戦略への影響がある場合は反映していく予定です。

[固定行]

(5.4) 貴組織の財務会計において、貴組織の気候移行計画と整合した支出/売上を特定していますか。

	組織の気候移行計画と整合している支出/売上項目の明確化
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内に行う予定はありません

[固定行]

(5.10) 貴組織は環境外部性に対するインターナル・プライスを使用していますか。

	環境外部性のインターナル・プライスの使用	環境外部性に価格設定を行わない主な理由	貴組織が環境外部性に価格付けしない理由を説明してください
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内に行う予定はありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	環境関連リスクおよび機会の特定、評価を行っていないため、それに伴う気候関連のシナリオ分析及び計画は策定しておりません。それに伴い、インターナル・プライスについても現段階においては使用しておりません。

[固定行]

(5.11) 環境課題について、貴組織のバリューチェーンと協働していますか。

	環境課題について、このステークホルダーと協働している	環境課題について、このステークホルダーと協働していない主な理由	環境課題について、このステークホルダーと協働していない理由を説明してください
サプライヤー	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	環境関連リスクおよび機会の特定、評価を行っていないため、それに伴う気候関連のシナリオ分析及び計画は策定しておりません。それに伴い、環境課題に関して、バリューチェーンの各ステークホルダーへのエンゲージメント向上を目的とした協働は現時点では行っておりません。
顧客	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	環境関連リスクおよび機会の特定、評価を行っていないため、それに伴う気候関連のシナリオ分析及び計画は策定しておりません。それに伴い、環境課題に関して、バリューチェーンの各ステークホルダーへのエンゲージメント向上を目的とした協働は現時点では行っておりません。
投資家と株主	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がな	環境関連リスクおよび機会の特定、評価を行っていないため、それに伴う気候関連のシナリオ分析及び計画は策定しておりません。それに伴い、環境課題に関して、バリューチェーンの各ステークホルダーへのエンゲージメント向上を目的とした協働は現時点では行っておりません。

	環境課題について、このステークホルダーと協働している	環境課題について、このステークホルダーと協働していない主な理由	環境課題について、このステークホルダーと協働していない理由を説明してください
	定もありません	いと判断した	
その他のバリューチェーンのステークホルダー	<p>選択:</p> <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして今後2年以内にそうする予定もありません	<p>選択:</p> <input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した	<p>環境関連リスクおよび機会の特定、評価を行っていないため、それに伴う気候関連のシナリオ分析及び計画は策定しておりません。それに伴い、環境課題に関して、バリューチェーンの各ステークホルダーへのエンゲージメント向上を目的とした協働は現時点では行っておりません。</p>

[固定行]

C6. 環境パフォーマンス - 連結アプローチ

(6.1) 環境パフォーマンスデータの計算に関して、選択した連結アプローチを具体的にお答えください。

気候変動

(6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

財務管理

(6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

当社グループが直接的に運営する事業は、グループ全体の連結決算・開示に向けて財務管理し得る領域であるため、財務コントロールを選択します。一方で、自社で財務管理下でないものの操業コントロール可能なバリューチェーンがないこと、持ち分株式アプローチで管理し得る領域がないことから、総合的に判断して、環境パフォーマンスデータの計算に関しては、財務コントロールを選択します。

プラスチック

(6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

財務管理

(6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

当社グループが直接的に運営する事業は、グループ全体の連結決算・開示に向けて財務管理し得る領域であるため、財務コントロールを選択します。一方で、自社で財務管理下でないものの操業コントロール可能なバリューチェーンがないこと、持ち分株式アプローチで管理し得る領域がないことから、総合的に判断して、環境パフォーマンスデータの計算に関しては、財務コントロールを選択します。

生物多様性

(6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

財務管理

(6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

当社グループが直接的に運営する事業は、グループ全体の連結決算・開示に向けて財務管理し得る領域であるため、財務コントロールを選択します。一方で、自社で財務管理下でないものの操業コントロール可能なバリューチェーンがないこと、持ち分株式アプローチで管理し得る領域がないことから、総合的に判断して、環境パフォーマンスデータの計算に関しては、財務コントロールを選択します。

[固定行]

C7. 環境パフォーマンス - 気候変動

(7.1) 今回が CDP に排出量データを報告する最初の年になりますか。

選択:

いいえ

(7.1.1) 貴組織は報告年に構造的変化を経験しましたか。あるいは過去の構造的変化がこの排出量データの情報開示に含まれていますか。

	構造的変化がありましたか。	買収、売却、または統合した組織の名前	完了日を含む構造的変化の詳細
	該当するすべてを選択 <input checked="" type="checkbox"/> はい、買収	株式会社 microCMS	企業買収の実行日は 2024 年 6 月 3 日です。当該連結子会社は、当社のデジタルマーケティング事業に組み入れられ、当社ビジネスモデルの構造は変化していません。

[固定行]

(7.1.2) 貴組織の排出量算定方法、バウンダリ、および/または報告年の定義は報告年に変更されましたか。

	算定方法、バウンダリ(境界)や報告年の定義に変更点はありますか。
	該当するすべてを選択

	算定方法、バウンダリ(境界)や報告年の定義に変更点はありますか。
	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ

[固定行]

(7.1.3) 7.1.1 および/または 7.1.2 で報告した変更または誤りの結果として、貴組織の基準年排出量および過去の排出量について再計算が行われましたか。

	基準年再計算	重大性の閾値を含む、基準年排出量再計算の方針	過去の排出量の再計算
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、変更によって基準年再計算をする必要があるかを評価していないため	基準年排出量の再計算の予定がないため、現時点においては方針はありません。	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

[固定行]

(7.2) 活動データの収集や排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法の名称を選択してください。

該当するすべてを選択

その他、具体的にお答えください:スコープ1については、省エネ法、温対法、フロン排出抑制法に照らし合わせて該当の有無を判断しています。

(7.3) スコープ2 排出量を報告するための貴組織のアプローチを説明してください。

	スコープ2、ロケーション基準	スコープ2、マーケット基準	コメント
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> スコープ2、ロケーション基準を報告していません	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 電力供給事業者の排出原単位または残余ミックスの排出原単位が利用可能な場所での操業はありますが、マーケット基準のスコープ2の値を報告できません	スコープ2については、算出の対象範囲が広範囲に及ぶと同時に、高い専門性が要求されるためGHG排出量の算出を見送っています。必要とされる社内リソースの確保や事業活動に関するデータを収集できる仕組みの構築を行ったうえで、GHG排出量を算出・開示することを検討してまいります。

[固定行]

(7.4) 選択した報告バウンダリ内で、開示に含まれていないスコープ1、スコープ2、スコープ3の排出源(たとえば、施設、特定の温室効果ガス、活動、地理的場所等)はありますか。

選択:

はい

(7.4.1) 選択した報告バウンダリ内にあるが、開示に含まれないスコープ1、スコープ2、またはスコープ3排出量の発生源の詳細を記入してください。

Row 1

(7.4.1.1) 除外する排出源

当社グループの本社オフィス内の社員食堂

(7.4.1.2) スコープまたはスコープ3カテゴリ

該当するすべてを選択

スコープ1

(7.4.1.3) 除外する排出源の Scope 1 との関連性について

選択:

排出量に関連性があるが、まだ計算されていない

(7.4.1.8) 除外された排出源に相当する Scope 1+2 の総排出量の推定割合

0

(7.4.1.10) この発生源が除外される理由を説明します

当社グループの本社オフィス内の社員食堂は Scope 1 に該当しますが、第一種特定製品（業務用冷凍・空調機）の管理者として、事業者全体でフロン類の漏洩量 1000t-CO2/年度未満のため報告対象から除外しました。

(7.4.1.11) 除外された排出源に相当する排出量の割合をどのように推定したかを説明ください

社員食堂については、小規模であることから影響の可能性が少ないと判断したため。

Row 2

(7.4.1.1) 除外する排出源

サーバールームの業務用冷凍空調機器

(7.4.1.2) Scope または Scope 3 カテゴリ

該当するすべてを選択

Scope 1

(7.4.1.3) 除外する排出源の Scope 1 との関連性について

選択:

排出量に関連性があるが、まだ計算されていない

(7.4.1.8) 除外された排出源に相当するスコープ 1+2 の総排出量の推定割合

0

(7.4.1.10) この発生源が除外される理由を説明します

当社グループの本社オフィス内のサーバールームの業務用冷凍空調機器はスコープ1に該当しますが、第一種特定製品（業務用冷凍・空調機）の管理者として、事業者全体でフロン類の漏洩量 1000t-CO2/年度未満のため報告対象から除外しました。

(7.4.1.11) 除外された排出源に相当する排出量の割合をどのように推定したかを説明ください

サーバールームについては定期点検撤去時のフロン回収業者からの報告によりフロン類の漏洩量が 1000t-CO2/年度未満となっていること。

[行を追加]

(7.5) 基準年と基準年排出量を記入してください。

	基準年終了	基準年排出量(CO2 換算トン)	方法論の詳細
スコープ 1	07/30/2024	0.0	スコープ1については、省エネ法、温対法、フロン排出抑制法に照らし合わせて該当の有無を含んでいます

[固定行]

(7.6) 貴組織のスコープ 1 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。

	スコープ 1 世界合計総排出量 (CO2 換算トン)	方法論の詳細
報告年	0	報告年度における GHG 排出量の算出に加え、燃料の使用や工業プロセスにおいて事業者が排出する直接排出に該当する場合。そのためスコープ 1 は該当しません。

[固定行]

(7.7) 貴組織のスコープ 2 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。

	方法論の詳細
報告年	スコープ 2 のロケーションベース及びマーケットベースの数値は報告しておりません。

[固定行]

(7.8) 貴組織のスコープ 3 全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。

購入した製品およびサービス

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

資本財

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

燃料およびエネルギー関連活動(スコープ1または2に含まれない)

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

上流の輸送および物流

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

事業から出る廃棄物

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

出張

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

雇用者の通勤

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

上流のリース資産

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

下流の輸送および物流

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

販売製品の加工

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

販売製品の使用

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

販売製品の廃棄

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

下流のリース資産

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

フランチャイズ

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

投資

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

その他(上流)

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

その他(下流)

(7.8.1) 評価状況

選択:

関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

スコープ3は算定・開示しておりません。

[固定行]

(7.9) 報告した排出量に対する検証/保証の状況を回答してください。

	検証/保証状況
スコープ1	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 第三者検証/保証なし
スコープ2(ロケーション基準またはマーケット基準)	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 第三者検証/保証なし
スコープ3	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 第三者検証/保証なし

[固定行]

(7.10) 報告年における排出量総量(スコープ1+2合計)は前年と比較してどのように変化しましたか。

選択:

排出量データがありません

(7.12) 生物起源炭素由来の二酸化炭素排出は貴組織に関連しますか。

選択:

いいえ

(7.15) 貴組織では、スコープ 1 排出量の温室効果ガスの種類別の内訳を作成していますか。

選択:

いいえ

(7.16) スコープ 1 および 2 の排出量の内訳を国/地域別で回答してください。

	スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)
日本	0

[固定行]

(7.17) スコープ 1 全世界総排出量の内訳のうちのどれを記入できるか示してください。

該当するすべてを選択

施設別

(7.17.2) 事業施設別にスコープ 1 全世界総排出量の内訳をお答えください。

Row 1

(7.17.2.1) 施設

本社オフィス

(7.17.2.2) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.17.2.3) 緯度

35.171903

(7.17.2.4) 経度

136.884474

[行を追加]

(7.22) 連結会計グループと回答に含まれる別の事業体との間のスコープ 1 およびスコープ 2 総排出量の内訳をお答えください。

	スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)	説明してください
連結会計グループ	0	スコープ 1 の排出量は 0 のため、内訳なし。
その他すべての事業体	0	スコープ 1 の排出量は 0 のため、内訳なし。

[固定行]

(7.23) 貴組織の CDP 回答に含まれる子会社の排出量データの内訳を示すことはできますか。

選択:

いいえ

(7.29) 報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものでしたか。

選択:

不明

(7.30) 貴組織がどのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。

	貴組織が報告年に次のエネルギー関連活動を実践したかどうかを示します。
燃料の消費(原料を除く)	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
購入または取得した電力の消費	選択: <input checked="" type="checkbox"/> はい
購入または取得した熱の消費	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
購入または取得した蒸気の消費	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
購入または取得した冷熱の消費	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
電力、熱、蒸気、または冷熱の生成	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

[固定行]

(7.30.1) 貴組織のエネルギー消費量合計 (原料を除く) を MWh 単位で報告してください。

購入または取得した電力の消費

(7.30.1.1) 発熱量

選択:

発熱量の確認不能

(7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)

402

(7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)

0

(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能+非再生可能) MWh

402.00

合計エネルギー消費量

(7.30.1.1) 発熱量

選択:

発熱量の確認不能

(7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)

402

(7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量 (単位 : MWh)

0

(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能+非再生可能) MWh

402.00

[固定行]

(7.30.16) 報告年における電力/熱/蒸気/冷熱の消費量の国/地域別の内訳を示してください。

日本

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

402

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

402.00

[固定行]

(7.53) 報告年に有効な排出量目標はありましたか。

該当するすべてを選択

目標なし

(7.53.3) 排出量目標を設定しなかった理由、および今後 5 年間の排出量変化予測について説明してください。

(7.53.3.1) 主な理由

選択:

重要ですが、差し迫った事業上の優先事項ではない

(7.53.3.2) 5 年間の予測

0

(7.53.3.3) 説明してください

スコープ1については、報告年度のGHG排出量の算出を行いました。燃料の使用や工業プロセスにおいて事業者自らが排出する直接排出に該当する項目はありませんでした。また今後5年間についても、スコープ1のGHG排出は発生しない見込みです。スコープ2、スコープ3については、算出の対象範囲が広範囲に及ぶと同時に、高い専門性が要求されるため報告年度のGHG排出量の算出を見送っています。必要とされる社内リソースの確保や事業活動に関するデータを収集できる仕組み構築を行ったうえで、過去のGHG排出量等、定量的根拠を揃え、それをもとに今後5年間の予測を立て、排出量目標を設定する予定です。

[固定行]

(7.54) 報告年に有効なその他の気候関連目標がありましたか。

該当するすべてを選択

その他の気候関連目標はない

(7.55) 報告年内に有効であった排出量削減イニシアチブがありましたか。これには、計画段階及び実行段階のものを含みます。

選択:

いいえ

(7.55.4) 報告年中に排出量削減活動を実施していなかったのはなぜですか。

当社グループがIT・情報セクターであり、かつ経営・事業上の戦略上、環境課題は差し迫った優先事項ではないため、気候関連問題をはじめとした環境問題への対応は行っておりません。そのため、具体的な排出量削減活動も実施しておりません。

(7.74) 貴組織の製品やサービスを低炭素製品に分類していますか。

選択:

いいえ

(7.79) 貴組織では、報告年内にプロジェクトベースの炭素クレジットを償却しましたか。

選択:

いいえ

C11. 環境パフォーマンス - 生物多様性

(11.2) 生物多様性関連のコミットメントを進展させるために、貴組織は本報告年にどのような行動を取りましたか。

	生物多様性関連コミットメントを進展させるために報告対象期間に取った行動
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ、そして生物多様性関連の行動に着手する予定はありません

[固定行]

(11.3) 貴組織は、生物多様性関連活動全体の実績をモニタリングするために、生物多様性指標を使用していますか。

	貴組織は生物多様性実績をモニタリングするために指標を使用していますか。
	選択: <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

[固定行]

(11.4) 報告年に、生物多様性にとって重要な地域内またはその近くで事業活動を行っていましたか。

	生物多様性にとって重要なこの種の地域またはその近くで、事業活動を行っているか否かを記入してください。	コメント
法的保護地域	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 評価していない	当該地域での事業活動に関してデータを収集しておらず、かつ評価も行っていません。
ユネスコ世界遺産	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 評価していない	当該地域での事業活動に関してデータを収集しておらず、かつ評価も行っていません。
UNESCO 人間と生物圏	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 評価していない	当該地域での事業活動に関してデータを収集しておらず、かつ評価も行っていません。
ラムサール条約湿地	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 評価していない	当該地域での事業活動に関してデータを収集しておらず、かつ評価も行っていません。
生物多様性保全重要地域	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 評価していない	当該地域での事業活動に関してデータを収集しておらず、かつ評価も行っていません。
生物多様性にとって重要なその他の地域	選択: <input checked="" type="checkbox"/> 評価していない	当該地域での事業活動に関してデータを収集しておらず、かつ評価も行っていません。

[固定行]

C13. 追加情報および最終承認

(13.1) CDP への回答に含まれる環境情報 (質問 7.9.1/2/3、8.9.1/2/3/4、および 9.3.2 で報告されていないもの) が第三者によって検証または保証されているかどうかをお答えください。

	CDP への回答に含まれるその他の環境情報は、第三者によって検証または保証されている	CDP への回答に含まれるその他の環境情報が第三者によって検証または保証されていない主な	CDP への回答に含まれるその他の環境情報が第三者によって検証または保証されていない理由を説明してください
	<p>選択:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> いいえ、今後 2 年以内に CDP 回答におけるその他の環境情報について第三者による検証/保証を取得する予定はありません。</p>	<p>選択:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 重要でないか、関連性がないと判断した</p>	<p>当社グループが IT・情報セクターであり、かつ経営・事業上の戦略上、環境課題は差し迫った優先事項ではないため、気候関連問題をはじめとした環境問題への対応は行っておりません。そのため、CDP 回答に関する第三者検証・保証についても現在はまだ予定しておりません。</p>

[固定行]

(13.3) CDP 質問書への回答を最終承認した人物に関する以下の情報を記入します。

(13.3.1) 役職

代表取締役社長

(13.3.2) 職種

選択:

取締役会/執行役員会

[固定行]

